

登録コード	UAC62500	開講年度	2026			
授業題目	芸術コミュニケーション研究				担当教員	濱崎 友絵
					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・ 5 時限	
				授業形態	講義	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学					
	【人間文化学】人間文化に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する人文学の伝統的な手法を身につけるとともに、他の学問分野の解析手法を併せて修得することによって、複雑多様化する現代社会の課題に柔軟な対応ができる応用力を有する。				思想、歴史、社会、言語、芸術など多種多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。	
	【人間文化学】高度な言語運用能力とコミュニケーション能力を基盤として、多領域のステークホルダーと協働し、現代社会の課題に取り組みながら、独創的かつ多文化共生的な英知の創成と提案を行う力を有する。				音楽および音楽学に関する深い理解を基盤として、現代社会における問題を客観的・学問的に究明し、独自の理論構築や仮説検証ができるようになる。	
(2)授業の概要	本授業では、「音楽を研究する」ことにかかわる諸問題を、とくにトルコの音楽を事例にしながら検討する。受講生による講読とその発表、さらに教員による補説と課題提示による双方向的におこなうアクティブ・ラーニング方式をとって進められる。					
(3)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：音楽学研究とは(講義) 第3回：W.J.オングの『声の文化と文字の文化』をめぐって（講義と討論） 第4回：音楽理論の構築とその歴史（課題と討論） 第5回：音楽理論の構築とその歴史（講読発表と補説） 第7回：記譜法について（課題と討論） 第8回：記譜法について（講読発表と補説） 第9回：楽器の生成と消滅（課題と討論） 第10回：楽器の生成と消滅（講読発表と補説） 第11回：宗教と音楽（課題と討論） 第12回：宗教と音楽（講読発表と補足） 第13回：音楽、政治、意味（課題と討論） 第14回：音楽、政治、意味（課題発表と討論） 第15回：総括 期末試験の有無：なし					
(4)成績評価の方法	以下を総合して判定する。 各回の授業時の発表30%、ディスカッション30%、レポート40% 評価割合は若干の調整を行うことがある。 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀、89-80% 優、79-70% 良、69-60% 可、59%以下 不可。					
(5)成績評価の基準	【卓越している】芸術コミュニケーション研究および資料読解とディスカッション、関連テキストを多角的に分析し論考する力において、極めて高い水準にある。 【かなり上にある】芸術コミュニケーション研究および基礎的な知識をもとに、資料読解とディスカッション、関連テキストを多角的に分析し論考する力において、非常に高い水準にある。 【やや上にある】芸術コミュニケーション研究および基礎的な知識をもとに、資料読解とディスカッション、関連テキストを多角的に分析し論考する力において、高い水準にある。 【その水準にある】芸術コミュニケーション研究および基礎的な知識をもとに、資料読解とディスカッション、関連テキストを多角的に分析し論考する力において、一定の水準にある。					
(6)事前事後学習の内容	事前学習としてテキストの読解と発表資料の作成が必須。事後学習は、授業ごとの復習を課す。これらを踏まえた上で最終レポートの提出が求められる。					
(7)履修上の注意	ディスカッション・ペースの授業展開となるため、受講生は発表準備とともに、積極的に議論にかかわることが必要となる。自主的に音楽鑑賞や音楽体験を積み上げつつ授業にのぞんでほしい。					
(8)質問、相談への対応	メールないし来室も可。オフィスアワーは初回の授業で示す。事前に来室希望日時をメールで連絡してほしい。メールアドレスは「授業内容紹介」を参照。					
【教科書】	とくになし					
【参考書】	M.Greve, Makamsiz: Individualization of Traditional Music on the Eve of Kemalist Turkey, Orient-Institut Istanbul, 2017. E.Bates, Music in Turkey, Oxford University Press, 2010.					